

中学校 2 年

発表と相互評価をしよう

大阪狭山市立南中学校

教科

国語

単元名

ハトはなぜ首を振って歩くのか

本時のねらい

- ・自分の主張を、根拠を持って伝えられるようになる。
- ・他者に伝わりやすい発表資料を作り、他者評価により自身のスキルアップにつなげる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンクを利用し、情報を素早く共有する。
- ・カードを送りあうことで、リアルタイムに相互評価をおこなう。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・オクリンク

本時で育む主な情報活用能力

B-STEP 2, D-STEP 3
E-STEP 4

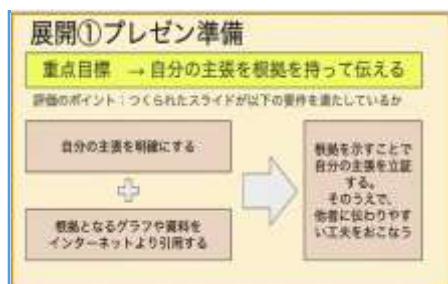
該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	・「本時のめあて」を確認する。 ・“自分の主張を根拠を持って伝えよう” ・「本時の流れ」を確認する。 ①スライドを作成する ②班単位で発表して相互評価する ③まとめを書く	・インターネット利用の際は、普段から意識させている著作権や、肖像権等に留意するよう確認する。 ・自分の仮説の根拠となる資料をインターネット上から探し、それを相手に伝わるように工夫する。
展開① (20 分)	・主張と根拠を明確にするように伝える。【写真 1】 ・オクリンクを利用し、スライドを作成する。【写真 2】	・最も効果的な言い回しにするために、文章の推敲をする。
展開② (20 分)	・班で集まって発表する。【写真 3】 ・発表が終わった人への評価をおこなう。 ・発表の良い点だけでなく、改善点も記入するよう促す。	・クラウド上のスライドを見せる、パソコン画面のスライドを直接見せる等、発表の方法は生徒たちが自ら選択する。 ・オクリンクの「送る」機能を使い、班のメンバーにのみ、評価シートを送りあう。
まとめ (5 分)	振り返りを記入する。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】 主張と根拠を関連付ける



【写真 2】 スライド作成の場面



【写真 3】 見る側を意識して作られたスライド

児童生徒の反応や変容

作成したスライドを共有することで、他の人の作品を鑑賞して、自分自身の作品づくりの参考にすることができた。また、1 人 1 台端末を活用した相互評価を導入したことで、多人数が同時に評価しあうことが可能になった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「根拠」や「データ」を用意して、他者に主張を伝える点に重点を置いた。相互評価もこれまでは紙面でおこなっていたが、どうしても授業後や後日のフィードバックになってしまっていた。その点を 1 人 1 台端末で瞬時にできるようになったのは大きなメリットだと感じている。